

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		56,181	44,469		-11,712
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	935	935		0
	地方債	13,400	0		-13,400
	その他	5,000	37,000		32,000
	一般財源	36,846	6,534		-30,312

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和5年度

部重点施策における目標
中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯
中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、新たに創業する事業者への支援を行うことにより、中心市街地の賑わいを創出していく。

事業概要
各種団体補助金・負担金 34,636千円 花巻商工会議所事業補助金、岩手県中小企業団体中央会補助金 商店街活性化イベント補助金 1,082千円 商店街団体が実施する賑わいづくりイベント事業への補助 まちなか創業支援 3,499千円 中心市街地で未利用店舗等を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導 都市機能誘導区域における物件情報調査 日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催 676千円 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは中止 まちの駅いしどりや酒蔵交流館の再整備 4,576千円 酒蔵交流館の解体設計・物置移設業務委託

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
商店街賑わいづくり事業 R2 44,469千円( 11,712千円)
1. 各種団体補助金・負担金 34,636千円( 631千円) (1)花巻商工会議所補助金 32,500千円( ±0) 市内中小企業者の経営指導や部会活動費、調査候補日、イベント費用等を支援。 (2)まちの駅連絡協議会会費 0千円( 60千円) まちの駅いしどりや酒蔵交流館がまちの駅として認定され協議会に加入(平成19年9月)。 まちの駅情報の共同発信、イベント・シンポジウム、特産品紹介・研修事業等。 耐震強度不足により解体・再整備が必要となり休館中のため、会費免除。 (3)岩手県中小企業団体中央会補助金 2,136千円( 571千円) 中小企業の組織強化、経営向上のための経営指導などを行う。 (市内37組合、4,540事業所)
2. 商店街活性化イベント補助金 1,082千円( 3,295千円) 商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業補助 R2実績 2団体、3イベント 補助額 1,082千円 補助率:対象経費の1/2 上限額:500千円(2イベントの場合は上限1,000千円) 事業主体:商店街振興組合、任意商店街、実行委員会等
3. まちなか創業支援事業 3,499千円( +892千円) (1) まちなか創業支援 1,590千円( +905千円) 中心市街地エリアの未利用店舗を賃借して新規創業する事業者に対し、改装等の経費の一部を補助。 R2実績 4件 補助額 1,590千円 補助率:対象経費の1/2 上限額:500千円 (2)創業後の経営指導 39千円( 13千円) まちなか創業の補助事業者に対し、営業開始後1年以内に中小企業診断士による経営指導を行う。 R2実績 3件 謝礼金 13千円×3件=39千円 (3)都市機能誘導区域物件調査業務委託 1,870千円( ±0) 都市機能誘導区域内における物件情報の現状を把握し、まちなか創業支援やリノベーションまちづくり等の事業につなげる。 調査エリア:花巻駅前、吹張、末広町商店街周辺 76件(店舗等 53件、土地 23件)
4. 日本ワインフェスティバル花巻大迫開催 676千円( 13,254千円) 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止 会計年度任用職員 676千円
5. まちの駅いしどりや酒蔵交流館の再整備 4,576千円(皆増) 酒蔵交流館解体設計業務委託 3,740千円 酒蔵交流館物置移設業務委託 836千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174050	商店街利便性向上事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,551	11,050		7,499
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,551	11,050		7,499

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
中心市街地の活性化

事業開始の背景・経緯
中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街における駐車場等の利便施設の運営や、商店街が実施する共同施設の改修を補助し、利便性向上を図る。

事業概要
市民ふれあい広場運営 8,512千円 中心市街地での買い物客が休憩等に利用する利便施設の運営 公共駐車場確保対策 2,366千円 大迫地区内の中心市街地来街者用駐車場を確保 商店街共同施設補修事業 172千円 商店街が設置した共同施設の補修経費への補助

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
商店街利便性向上事業 R2 11,050千円 (+7,499千円) 1. 市民ふれあい広場運営 8,512千円 (+6,531千円) 商店街の利便施設として運営。 ・一日市商店街(一日市商店街振興組合) 888千円 (+108千円) ・上町商店街(花巻市広告美術協会) 6,449千円(皆増) 商店街景観形成事業よりシフト ・大迫町商店街(あねっこの会) 206千円(16千円) ・石鳥谷中央通り商店街(石鳥谷中央通り商店街振興会) 463千円(10千円) ・東和町商店街(東和町土沢商店街商店会連絡会) 506千円(±0)
2. 公共駐車場確保対策 2,366千円(+946千円) 大迫地区内の中心市街地来街者用の駐車場を確保 委託料(除排雪、看板設置、区画線) 989千円(+971) 除排雪240千円、看板692千円、区画57千円 借上料 1,377千円(-25) 基準地価 面積 契約者名 賃借料 ・仲町駐車場 6,300円 854.22㎡ 小川富士 696千円 ・上町駐車場 10,700円 643.00㎡ 黒沼啓三 344千円 ・川原町駐車場 16,300円 413.00㎡ 宗教法人到岸寺 337千円 賃借料=基準地価×面積×5%の値
3. 商店街共同施設補修事業補助金 172千円(+22千円) 【概要】 商店街の共同施設の補修経費に対して補助する。 【内容】 補助率:対象経費の1/2 対象施設:駐車場、園地、緑地、公衆便所、広告灯、街路灯、アーチ、アーケード 【実績】 ・大町商店街街路灯バナー製作事業 事業費105,600円、市補助52千円 ・吹張町アーケード照明器具LED化事業 事業費265,650円、市補助120千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174050	商店街利便性向上事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174060	商店街景観形成事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		12,400	7,887		-4,513
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	4,000	5,800		1,800
	その他	0	0		0
	一般財源	8,400	2,087		-6,313

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯

中心商店街の賑わいづくりに加え、自主的なまちづくりを促進するために地域住民や関係団体が取り組む事業に対して支援を行う。顔づくり交付金は、平成21年度～5年間、平成26年度～3年間の計画を認定し交付。平成29年度からは単年度実施。

事業概要

中心商店街顔づくり交付金 6,000千円  
大迫、石鳥谷、東それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援  
歴史的建造物調査 1,887千円  
大迫の中心商店街において古い街並みを活かした景観づくりに向けた調査検討

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

顔づくり交付金について、大迫、石鳥谷、東和の3地域から継続の要望がある。

事業手法の詳細1

商店街景観形成事業 R2 7,887千円 ( 4,513千円)

- 中心商店街顔づくり交付金 6,000千円 ( ±0 )  
 (1)大迫地域「宿場浪漫のまち おおはさま」 2,000千円  
 実施主体 大迫地域中心市街地顔づくり委員会  
 目指す姿 宿場浪漫のまちをテーマとし、来訪者に昔の宿場町の面影を感じてもらえるような和風レトロのまち並みや歴史ある様々なイベント等を活用し、来訪者と商店街が一体となった明るい商店街を目指す。  
 内 容 歴史ある町並み保存活用  
 まつりと賑わいづくり  
 おもてなしの商店街づくり  
 商店街の整備  
 空き店舗の活用
  - 石鳥谷地域「南部杜氏の里に全員集合！」 2,000千円  
 実施主体 石鳥谷中央通り商店街振興会  
 目指す姿 まちの駅いしどりや酒蔵交流館を拠点として、住民に酒蔵の雰囲気を感じることができるようにすることで南部杜氏の里であることを身近なものとして印象付け、地域の伝統を継承する一方、市内高校生の意見を取り入れ、新しい取り組みも行うことで老若男女を問わず楽しめる賑わいのあるまちを目指す。  
 内 容 青雲チャレンジ2020inふらっと朝市開催  
 イルミネーション装飾事業の実施  
 商店街ホームページの更新  
 酒蔵まつり 新型コロナウイルス感染症拡大により中止  
 商店街街路灯フラッグ作成
  - 東和地域「アートのまち365」 2,000千円  
 実施主体 土沢商店街商店会連絡会  
 目指す姿 イベント期間中だけでなく、年間を通してアートを感じる商店街をめざす。  
 内 容 アートのまち365の評価事業(アンケート実施、レポート作成)  
 まちてくギャラリーつちざわ事業(街なかでアートギャラリー開催)  
 アートのまち情報発信事業(アート情報誌「木の間通信」の発行)  
 アートのまち子供たちの笑顔事業  
 アートのまちオリジナル土産開発普及事業  
 (「土澤土産ロゴ」入りバッグなどの作成)
2. 歴史的建造物調査 1,887千円(皆増)  
 大迫地域の中心商店街には、宿場らしい歴史ある建物が残されており、この建物の保存や修景の保全を図りながら、落ち着いた佇まいを未来への遺産として活用することが可能か基礎調査を行うもの。  
 調査対象建物 計8棟のうち令和2年度調査実施5棟  
 ・村田万希子宅(旧村田酒店)、桜井登美宅(旧桜井旅館)  
 300千円×2棟=600千円  
 ・(亡)畠弘二宅(畠建材店)、高橋秀彰宅(高鉦菓子舗)、畠敬一(畠電機商会)  
 委託料 1,287千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174060	商店街景観形成事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174250	中小企業持続支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	489,103		489,103
財源内訳	国費	0	441,900		441,900
	県費	0	40,045		40,045
	地方債	0	0		0
	その他	0	825		825
	一般財源	0	6,333		6,333

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

新型コロナウイルス感染症拡大により特に大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を支援することを目的として実施する。

事業概要

飲食店等経営支援事業 183,969千円  
 (高齢者向け)はなまき小判配布事業 55,491千円  
 中小企業持続支援事業(家賃補助) 66,887千円  
 持続化給付金申請支援事業 2,217千円  
 中小企業売上アップ応援事業 178,687千円  
 家賃支援給付金申請支援事業 1,852千円

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細1

中小企業持続支援事業費 489,103千円

飲食店等経営支援事業 183,969千円  
 新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少し、経営に支障が生じている中小企業者の経営を支援するため、花巻商工会議所が経営支援を必要とする飲食店及び自動車運転代行業に支援金を給付する場合及びその運営に要する経費に対し補助金を交付するもの。

- ・補助金交付実績
- (1) 支援金分 予算額 216,000千円 決算額 182,000千円・・・  
 飲食店 354店舗×500千円=177,000千円  
 自動車運転代行業 10事業者×500千円=5,000千円
- (2) 事務費分 予算額 2,857千円 決算額 1,969千円・・・  
 + =183,969千円

(高齢者向け)はなまき小判配布事業 55,491千円  
 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内事業者の売上の回復に資するため、スマートフォンによるQRコード決済PayPayのポイント還元キャンペーンを実施することとしたがスマートフォンを保有していない方への補完支援として、スマートフォンを保有していない方が多い70歳以上の方へ花巻商工会議所が実施する「はなまき小判」を2,000円配布し、市内事業者の売上向上を図るもの。

- ・配布対象者 24,951人(令和2年9月1日現在で市に住所を有する70歳以上の方)
- ・うち配布済 24,912人(配布枚数 49,824枚...a)
- ・事業費実績(1) 送付書出力業務 0千円・・・
- (2) 小判配布・換金業務 55,463千円・・・  
 1.換金分 決算額 43,763千円...b 換金率(b/a\*2千円) 87.8%  
 2.事務費分 決算額 11,700千円
- (3) その他(事務用品) 28千円・・・  
 + + =55,491千円

中小企業持続支援事業(家賃補助) 66,887千円  
 新型コロナウイルス感染症拡大により、特に大きな影響を受けている事業者に対し、事業の継続を支援するため、事業者が支払う賃借料の一部を補助するもの。

- 1 補助金交付実績 66,621千円  
 (1) 令和2年4月~令和2年9月対象 申請件数:271件 交付決定額:30,830千円・・・  
 (2) 令和2年10月~令和3年2月対象 申請件数:236件 交付決定額:35,791千円・・・  
 + =66,621千円 A
- 2 事務費 266千円  
 (1) 需用費 198千円 B  
 (2) 役務費 68千円 C  
 A+B+C=66,887千円
- 県補助(地域企業経営継続支援事業費補助) 40,045千円 事務費含む  
 (1) 令和2年4月~令和2年9月対象(補助率1/2) 交付額:15,455千円・・・  
 (2) 令和2年10月~令和3年2月対象(R2.12~R3.2 補助率10/10) 交付額:24,590千円・・・  
 + =40,045千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174250	中小企業持続支援事業費

事業手法の詳細 2

持続化給付金申請支援事業 2,217千円  
 国の持続化給付金の円滑な支援するため、申請のサポート体制を市独自で整備  
 <1回目>  
 委託料：1,358千円  
 実施期間：R2.5.13～R2.5.29（土日除く）  
 支援実績：159件

<2回目>  
 委託料：859千円  
 実施期間：R2.6.1～R2.6.26（土日、国の申請サポート期間6/15～19を除く）  
 支援実績：97件

花巻市中小企業売り上げアップ応援事業 178,687千円  
 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内事業者（飲食店、小売店、サービス業等）の売上回復に資するため、PayPayを活用した決済金額の一部を還元し、市内経済の活性化を図る。  
 事務用消耗品 51千円  
 (1) 第1弾：令和2年8月1日～9月30日（61日間）：委託先 花巻商工会議所：加盟店舗773店  
 委託料 49,775千円  
 事務用品 51千円  
 (2) 第2弾：令和2年12月1日～3月31日（121日間）：委託先 花巻商工会議所：加盟店舗1075店  
 委託料 128,861千円

家賃支援給付金申請支援事業 1,852千円  
 オンライン申請が困難な方のために申請サポート会場を開設し、スタッフを常駐させて申請書類の確認及びオンラインでの申請を補助する。11月から1月まで週2回設置。  
 (1) 利用実績  
 予約コマ数 137件  
 受付件数 123件（延べ）  
 申請到達件数 73件  
 達成率 59.3%  
 (2) 申請支援業務委託 1,469千円  
 ・申請支援業務（主任・補助スタッフ2名分の人件費・交通費） 1,217千円  
 主任スタッフ1名、補助スタッフ1名 計23日間  
 ・会場設営・撤去業務 252千円  
 オンライン申請に必要な機器をリース、設置・撤去  
 複合機、モバイルルーター、ノートパソコン、PCモニターの1か月間にリース期間延長  
 (3) 事務費 59千円  
 申請サポート会場必要物品購入、事業案内郵送料  
 (4) 会計年度任用職員補正 324千円  
 R2.11月からR3.3月までの第1号会計年度任用職員1名分  
 R3.2月からR3.3月までの第1号会計年度任用職員1名分  
 報酬 302千円  
 費用弁償 22千円

事業手法の詳細 3

--



令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	04	01	184250	リノベーションまちづくり推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		26,987	10,232		-16,755
財源内訳	国費	9,338	4,841		-4,497
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	16,000	5,000		-11,000
	一般財源	1,649	391		-1,258

特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度

部重点施策における目標	立地適正化計画にかかる都市再構築事業及び関連事業を推進する。
-------------	--------------------------------

事業開始の背景・経緯	民間自立型のまちづくり会社により中心市街地における遊休不動産を活用した事業開発、事業投資を促進し、主に都市機能誘導区域内を中心にまち再生を推進する。
------------	--

事業概要	遊休不動産と公共空間の効果的な活用を促進するエリアリノベーション事業 (リノベーションまちづくり構想の策定) 10,232千円
------	--

担当部署	16150000 建設部 都市再生	担当課長	澤田 利徳
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況	
-----------	--

事業手法の詳細 1	<p>1. 花巻リノベーションまちづくり構想の策定と策定会議の開催 10,232千円（前年度比 16,755千円）</p> <p>(1) 目的 遊休不動産を活用したリノベーション事業と、新たな担い手やその取組を応援してくれる人を増やすため</p> <p>(2) 事業内容 家守会社や民間のリノベ事業推進者を中心に、花巻市リノベーションまちづくり構想策定委員会を組織し、今後の取組の方向性や具体的事例を記載した花巻リノベまちづくり構想を策定。 メンバー 市内家守舎、民間リノベ事業推進者、外部有識者、市職員等 24人 会議内容 遊休不動産を活用するリノベまちづくりの推進、リノベまちづくりの理解普及、新たな担い手の創出</p> <p>会議開催 8/ 5 第6回花巻市リノベーションまちづくり構想策定委員会（非公開） 10/23 第7回 “ （公開） 12/17 第8回 “ （公開） 2/20 第9回 “ （公開）</p> <p>謝礼 208千円 全4回開催したリノベまちづくり構想策定会議に参加した委員への謝礼</p> <p>需用費 549千円 消耗品 53,944円（カレントナー他） 印刷製本 495,000円（リノベまちづくり構想作成58P B5版 フルカラー300部）</p> <p>委託費 9,475千円 リノベまちづくり総合プロデュース委託料 9,475,404円</p> <p>賃借料 0円 感染症対策として構想策定会議をオンライン開催</p> <p>旅費 0円 当初は構想策定に係る各種打ち合わせや全国各地におけるリノベーション関連の勉強会に参加する予定だったが、感染症拡大防止のため自粛</p>
-----------	--

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	04	01	184250	リノベーションまちづくり推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3